





# 3歳児クラス 7月 第1回 「ぶたぶたくんのおかいもの」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「ぶたぶた」呟きながら絵本を持って登場。自己紹介をして講師と会話。これから買物に行く旨を話して去って行く。</li> <li>講:「行ってらっしゃい」とぶたぶたくんを見送り「何を買うのかな?」と買い物に期待を持たせてお話に入っていく。</li> </ul>	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>★絵本</li> <li>★iPad(シアターセット)</li> </ul>	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①お母さんがお買い物を頼む場面では、子ども達も一緒に覚える様に声をかける。</li> <li>②全体にことばの多いお話なので飽きないようにテンポ良く読み進める。</li> </ul>	保育士の役割	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 絵本持って登場。講師と会話する。</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	生活	指示を理解してお買い物ごっこを楽しむ	
設問	おはじき「4個」でお買い物。カード6枚と交換しましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「ぶたぶたくん、上手にお買い物できて良かったね」</li> <li>保:「ぶたぶたくんからプレゼントが届いています」と6種のカードが入った封筒を届ける。</li> </ul>		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講: 封筒から6種の提示用買い物カードを取り出し、子ども達と一緒に名称確認「美味しそうなのがいっぱい。今日はおはじき「4個」でお買い物できるんだって。みんなでお買い物してみる?」と子どもの意欲を引き出し「先生もお買い物してみるから見てね」と見本を見せる。                      &lt;見本行動&gt;おはじきを子ども達と一緒に「4個」数えながら取り、(保育士に対して)「カードをください」(おはじきを渡し)「ありがとう」の会話と共にカードを受け取り交換する。</li> <li>子: 講師見本同様おはじき「4個」を取り。「ください」「ありがとう」の会話と共にカードを交換する。                      ※おはじきは子どもの理解度に合わせて講師と一緒に数えてストップをかけてもよい。                      ※買い物は出来れば少し離れたところで保育士がカード6種を皿に入れて準備し交換できると良い。無理な場合は講師、保育士が個々に対応して交換していく。</li> <li>講: おはじきとカードの交換後「買い物」できたことを称賛。                      1対1対応で数(6枚)を確認。次に6種の名称を確認しながら皆で味見と称して食べる真似をしたり「何が好き?」とインタビューなどして楽しむ。                      ※このまま&lt;活動②&gt;へ進む。</li> </ul>		提示用買い物カード おはじき 皿
			<ul style="list-style-type: none"> <li>• カードの入った封筒提示</li> <li>• 講師見本用買い物カードを皿に入れて準備、おはじきと交換でカードを渡す</li> <li>• 子ども配布用買い物カードを皿に入れて準備、おはじきと交換でカードを渡す</li> <li>• 称賛</li> <li>• 戸惑う子、理解できない子のフォロー</li> </ul>
活動②	記憶	お話を思い出し、買い物カードをお店屋さんに置くことができる。	
設問	お話を思い出し、ぶたぶたくんが買い物をしたお店屋さんにカードを置きましょう		
つなぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「今日はぶたぶたくんからクイズも届いていますよ」とプリント提示。</li> </ul>		教材
内	<ul style="list-style-type: none"> <li>講: プリントを受け取り、「どこのお店屋さんでぼくがお買い物をしたのか思い出して、カードを置いてみましょう…だって。できるかな?一緒にやってみよ</li> </ul>		P1 提示用プリント 提示用買い物カード 6種

	<p>うか？」とプリントを子ども達にも配布する。          プrintの「左」から一緒に指さしながらお店屋さんの数（3個）を確認「これは何屋さん？」と子ども達のことばを引き出しながら「一番最初に行ったお店は何屋さん？（パン屋）」「パン屋さんにあったのはどれかな？ぶたぶたくんは何を買ったの？（かおつきパン）」などと子どもの理解度に合わせてことばを引き出しながら6種のカードをそれぞれのお店の中に入れていく。          6枚全部置いたところで称賛。          それぞれのお店屋さんにカードが何枚ずつ置けたのかを確認する（2枚ずつ）。「今日はお家の人にもお土産にしてあげましょう」と裏のシールを剥がしてプリントに貼り付ける（シールのゴミは皿の中）          ※シールが気になる子がいる場合は途中、貼りながら進行しても良い。お土産に期待を持って活動を終了する。</p>	皿（カードが入っていたもので良い）
		保育士の役割
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント提示</li> <li>・理解できない子のフォロー</li> <li>・発言の無い子のフォロー</li> <li>・称賛</li> </ul>

数子ヤレ	数	「4個」のおはじきを数えて取ることができる。	教材
設問			
活動内容	※今回は<活動①>を「数にチャレンジ」とします。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	長い話を飽きることなく集中して見せる事が出来たか
活動①生活	挨拶（ください、ありがとう）の指導を適切に行ったか おはじきの取り方（4個）、6枚のカードの数え方の指導が出来たか
活動②記憶	話の内容を思い出せるように質問をしながら活動出来たか 種類による分類（仲間集め）であることを確認したか
数子ヤレ（4個）	活動①に含む

楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・数 \*\*\*

お買い物ごっこ

- ①机や積み木などの上におもちゃやカードを並べてお店屋さんを準備。
- ②「ください」「どうぞ」「ありがとう」など、ことばのやりとりと共に「いくつにしますか？」と数についての会話も入れて行くことがポイントです。自分の欲しいものをしっかり相手に伝えて遊んでみましょう。

※興味が出てきたらおはじきをお金に見立てて交換するのも良いですね。

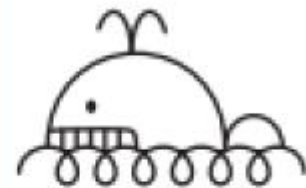


このような遊びを通して社会のルールや場面に適した言葉遣いを学ぶことができます。家庭ではぜひ実際にお買い物体験させてあげてください。



今月のえかきリズム

\*\*\* くじら \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

